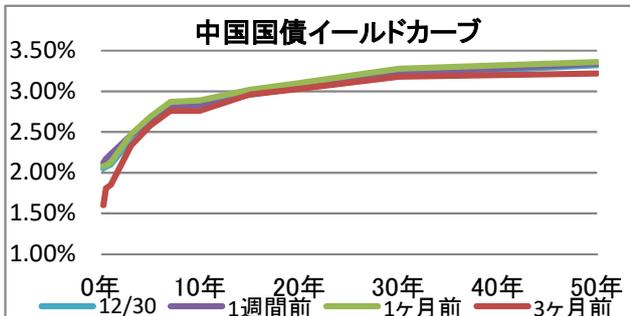
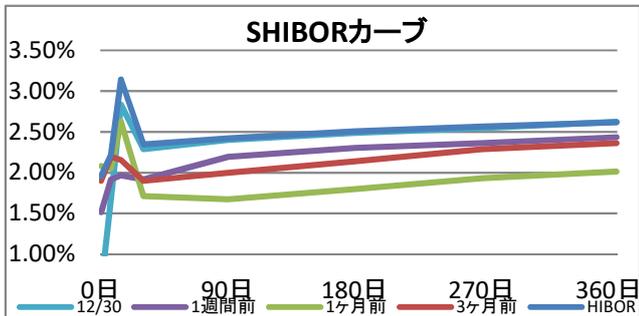


基準レート		2022/12/30	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9646	-0.0164
	JPY/CNY	5.2358	-0.0417
SHIBOR	3M	2.4220%	+0.0200%
国債利回り	10年	2.84%	+0.01%
上海総合指数		3,089.26	+43.39



(1) 概況

国際金融市場では、クリスマス休暇で閑散な取引となる中、中国のゼロコロナ政策転換による経済回復への期待や米国の金融引き締め政策長期化懸念の再燃により債券利回りが上昇し、株式市場は軟調に推移する展開となった。外為市場も小幅な値動きに終始し、ドル円は133円、ユーロドルも1.06近辺での取引に終始。

中国金融市場でも、市場参加者が減少する中、中国人民銀行による積極的な資金供給により資金需給が改善し、債券利回りの上昇も一服し、ゼロコロナ政策修正の効果への期待や入国隔離義務撤廃による経済効果への期待もあって株式市場も底堅く推移。外為市場は薄商いの中で6.9台後半でのレンジ取引となった。

中国では、コロナ感染症の危険度を引下げて入国隔離措置の撤廃を公表する等、ゼロコロナ政策の転換を一段と進めており、習主席の新年祝辞でも感染対策についてこれまでの成果を強調した上で新たな段階に入ったとして、ゼロコロナ政策への直接の言及はなかったものの事実上修正している。また、財政部や国家発展改革委が、感染症対策緩和と効率的な財政政策による経済発展に向けた2023年経済運営方針を示し、中国人民銀行は安定的な金融政策を強化して重点的な政策措置による物価の安定と内需拡大を支援する方針を、銀保監会も内需拡大や不動産・中小民営企業支援や金融リスク防止と改革開放の拡大継続を含む2023年の主要任務の方針を示している。中国人民銀行の元幹部がデジタル人民元は有用性が乏しく、利用範囲の拡大を検討すべきとの見解を示している。また、銀保監会は銀行の証券管理業務監督管理法のパブコメ募集を開始し、証監会は違法な証券活動に対する管理強化法案を公表している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日390億元に対し、新規リバースオペ10,140億元（1wk9,440億元、2wk700億元）によりネットで9,750億元の年末越え資金を供給。

(3) 主な経済指標

国家統計局のPMI（12月）は、製造業が47.0%（11月、48.0%）、非製造業が41.6%（同、46.7%）、総合でも42.6%（同、47.1%）と、ゼロコロナ政策修正後の感染拡大による影響によりほぼ全てのサブ指数が悪化し、上海がロックダウンとなった4月以来の水準に低下。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9570%	1.7000%	2.2000%	
1W	2.2230%	2.8000%	2.9000%	
2W	3.1450%		2.8100%	1.1500%
1M	2.3460%	2.8000%	2.7000%	1.2000%
3M	2.4220%	2.5000%		2.1200%
6M	2.5080%	3.3000%		2.5200%
9M	2.5650%	3.7000%		2.4000%
12M	2.6190%	3.7500%		2.4300%

中国人民銀行の積極的な年末越え資金供給オペ継続により安定し、年末越え資金調達の一服により金利は低下に転じ、ターム物が年初スタートとなると金利水準は一段と低下した。ターム物は、1ヶ月が3%台半ばまで上昇後、年末に年初スタートになり2.7%前後まで低下した以外、長めの期間の出合いは限定的。

NCDも年末要因による高止まりから低下に転じ、ターム物は1ヶ月が2.7%台から年末には1%台まで、3ヶ月は2.5%前後から2.1%台へ、6ヶ月も2.5%台から2.3%前後に、1年では2.6%半ばから2.4%台に低下した。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	4.30%	4.31%
1W	4.45%	4.50%
1M	4.65%	4.70%
3M	5.10%	5.30%
6M	5.40%	5.50%
12M	5.60%	5.70%

年末要因や外国勢のクリスマス休暇等から取引が限定的となる中、米国の金融引き締め政策の長期化懸念が高まったことも手伝い短期の調整中心の展開となった。ターム物は1ヶ月の4.6%台での出合いを除き限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.05%		2.23%	2.56%	3.03%
6M	2.07%		2.47%	2.64%	3.11%
1Y	2.10%	2.23%	2.54%	2.76%	3.31%
3Y	2.40%	2.69%	2.85%	3.20%	3.87%
5Y	2.64%	2.83%	3.11%	3.50%	4.22%
10Y	2.84%	3.06%	3.46%	3.71%	4.43%

債券市場では、ゼロコロナ政策修正による経済への影響と年末資金需給要因の影響を受け、週前半はやや弱含む（利回り上昇）場面も見られたが、週後半には中国人民銀行による積極的な資金供給により年末越え資金が確保され、感染拡大による先行き懸念もあって強含む（利回り低下）展開となった。米国債利回りは金融引き締め政策の長期化懸念からクリスマス後に上昇しており、10年米国債利回り（3.87%、+12bp）の中国国債利回り（2.84%、+1bp）の上回り幅は+103BP（前週+11bp）に一段と拡大。

イールドカーブは短期が年末要因剥落から大幅に低下したものの、中長期では利率債を中心に過度の景気先行き懸念の後退により利回りが下げ渋ったことから、一段とステイプニングが進んだ。クレジットスプレッドは資金需給改善により信用債利回りが総じて低下したことから、中長期を中心に縮小に転じている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-174.0 / -170.0
3M	-510.0 / -504.0
6M	-1040.0 / -1028.0
9M	-1580.0 / -1558.0
12M	-1980.0 / -1970.0

対ドル基準レートは6.9646と前週末比-164pipsのドル安元高、対円基準レートは5.2358と同-417pipsの円安元高と、市場でのドル高止まりから年末に元が買い戻された流れを受けて前週末比では小幅な元高での設定となった。中国国内市場では、クリスマス要因から海外勢の市場参加が限定的となる中、米国金融引き締め政策の長期化懸念と中国でのゼロコロナ政策修正後の感染拡大による先行き懸念から6.99近辺で取引が始まるドルの底堅い状況から、中国経済への過度の懸念後退により6.95台に元が強含みに転じる展開で年末を迎えている。

先物は、動意なく小幅な値動きが続いていたものの、年末になるとドル金利が高止まる一方で人民元金利が年末要因の剥落により低下したことから、マイナス幅がやや拡大し、1年物は-1975前後に低下している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.07%		1.60%
6M	2.09%	2.40%	1.69%
9M	2.13%	2.42%	1.80%
1Y	2.19%	2.46%	1.86%
3Y	2.55%	2.85%	1.97%
5Y	2.77%	3.13%	
7Y	2.91%	3.30%	
10Y	3.05%	3.45%	

スワップ金利は、閑散な取引となる中で動意なく前週末と水準は変わっておらず、スワップスプレッドは短期を中心にやや拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。